

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	経済学 I	
科目基礎情報							
科目番号	0100			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	教科書は使わない。講義ノートは担当者が作成し配布する。						
担当教員	古田 俊吉						
到達目標							
行動経済学の基礎知識・理論の習得							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目	授業で学ぶ経済学・行動経済学の各種テクニカルターム（専門用語）を十分理解し、それを基に人の意思決定や行動、経済の動きを説明できる。			授業で学ぶ経済学・行動経済学の各種テクニカルターム（専門用語）をある程度理解し、それを基に人の意思決定や行動、経済の動きをある程度説明できる。		授業で扱う経済学・行動経済学の各種テクニカルターム（専門用語）の理解が足りず、人の意思決定や行動、経済の動きを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	目標：経済諸事象の意味を理解できるようになること 概要：行動経済学を中心として経済学の基礎知識・理論を学ぶ						
授業の進め方・方法	学生の理解度に応じて、授業計画を変更することがある。教員単独で、講義を実施する。						
注意点	定期試験 80 点、ポートフォリオ（態度、発表、課題などの平常点）20 点とし、合計 60 点を合格とする。評価が 60 点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を 60 点とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		シラバスの内容を確認し、ガイダンスを行う。		
		2週	行動経済学（その1）		経済の動きを知り、理解するには、伝統的経済学と同時に行動経済学が必要であることを理解する。		
		3週	行動経済学（その2）		行動経済学の体系、行動経済学の最近の話題について知る。		
		4週	ヒューリスティックス		人の意思決定や行動をヒューリスティックスの観点から理解する。代表性、利用可能性、アンカーリングと調整の3つのヒューリスティックスを理解する。		
		5週	プロスペクト理論（その1）		人の意思決定や行動をプロスペクト理論の観点から理解する。価値関数を理解する。		
		6週	プロスペクト理論（その2）		決定のウェイト付けを理解する。		
		7週	重要事項の確認		重要事項とその理解を確認する。		
		8週	フレーミング効果		人の意思決定と行動をフレーミング効果の観点から理解する。		
	2ndQ	9週	メンタル・アカウンティング		人の意思決定と行動をメンタル・アカウンティングの観点から理解する。		
		10週	時間選好と割引率（その1）		人の通時的意思決定に関し、時間選好、割引率（固定割引率、双曲割引率）、利率を理解する。		
		11週	時間選好と割引率（その2）		割引率と人の行動や経済の動きとの関係について理解する。国家間で割引率が異なることを理解する。		
		12週	リバタリアン・パターナリズムとナッジ		政府の公共政策についての考え方としてのリバタリアン・パターナリズムを理解する。またそこにおけるナッジという手法を理解する。		
		13週	行動経済学を生活に役立てる		暮らし、ビジネス、市場、政策の4つの観点から、行動経済学を生活に役立てる方法を考える。		
		14週	ゲーム理論		人の意思決定をゲーム理論の観点から理解する。		
		15週	前期の学習内容の確認		前期の学習内容の理解を確認する。		
		16週	成績評価・確認		期末試験および成績評価・確認		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0